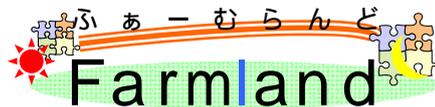




会報



第33号

平成28年12月

多面的機能支払交付金事例研究会

11月1日(火)東京大学農学部内(弥生講堂一条ホール)において、農林水産省主催による多面的機能支払交付金事例研究会が開催されました。全国から約200人の参加があり、鳥取県からは昨年度中国四国農政局長表彰(優秀賞)を受けた「西郷農地水まもり隊」窪田運営委員会長に参加して頂きました。投稿記事をいただきましたので、掲載します。

県協議会からの参加案内で事例研究会に参加しました。

今年のテーマは、多様な参画・連携の促進 活動組織の広域化 女性の活躍 土地改良区との連携で、それぞれ活躍している6団体の活動報告がありました。今回は女性の活躍ということで、女性の参加者が1/3くらい占めていました。

冒頭の主催者挨拶を始め、事例発表者も半分は女性で、ダークスーツが殆どを占めるこの種の会議では華やかな雰囲気、初めての経験でした。発表内容も、従来の農地管理ではなく、女性目線で見た農地の活用や、農業用水路の管理に重点を置いた活動内容でした。

遊休農地を活用した種まきから収穫・加工まで子供と一緒に、「農+食」の体験活動している事例や用水路を子供の遊び場として一体的に管理していくことで、非農家を維持活動に取り込んだ事例などで、これらに共通していることは、いずれも「女性」が中心になっていることでした。

只、このような活動に交付金を使用することに対して、グレーゾーンのなところも多々見受けられ、後の質疑応答や意見交換会でも質問がでしたが、農業生産に結び付けてあるので、「レッドカード」では無いとの答弁がされていました。

女性が中心となることで、いろいろな活動のアイデアが生まれることが、分かる良い事例研究会でした。

私たちの活動組織もあやかりたいが、なかなか呼びかけても参加してくれる女性が無く、活動がマンネリ化と共に、構成員の高齢化で衰退して行くのではと危惧している今日この頃です。



窪田氏も感じられるとおり、県内でも女性が活躍されている組織は少なく、なかなか参画が得られていないのが実情です。

しかし、**女性が元気な集落・地域は、やはり組織の活動も活発に行われている**ようです。それぞれの組織においても、女性の参加しやすい環境づくりを心がけ、組織の活性化に繋げていただきますよう、お願いします。

暗渠排水の洗浄研修会を開催

11月22日(火)13:30より南部町清水川地内において、暗渠排水の洗浄に関する研修会を開催しました。当日は、事前の申込み(126名)以上の参加がありました。参加者からは、「委託費はいくらくらいなのか?」「今後うちの組織でやってみたい」等ありました。



研修会の様子



洗浄により暗渠排水内の泥が洗い流れている様子

なお、**暗渠排水の洗浄は、資源向上支払(共同活動)交付金**で実施できます。

インフォメーション

1. 目地補修座学研修及び活動組織交流会の**日程変更**について

10月26日(水)倉吉体育文化会館において、活動組織を対象とした目地補修座学研修及び活動組織交流会を開催予定としておりましたが、鳥取県中部で発生した地震のため延期とさせて頂きました。

新たな開催日は、**平成29年1月13日(金)**とさせて頂きます。(会場：倉吉体育文化会館、時間：13:30～は変更ありません。)

なお、申し込んでいて都合が悪くなった方、又は、申し込んでいないが出席できるようになった方は、ご面倒でも市町村担当者へご連絡をお願いします。

2. 中国四回シンポジウムのご案内

平成28年度の中国四国シンポジウムは、平成29年1月19日(木)岡山市に於いて開催されます。参加を希望される方は、市町村担当者へご連絡をお願いします。

活動組織からのQ & A

- Q. 活動組織の構成員である老人クラブに、農道に植栽したアジサイ等の管理をお願いしています。年間の管理費として、2万円支払いたいのですが、よろしいでしょうか?
- A. **交付金の支出に関しては、物品購入、リース料、委託料以外は、基本的には日当(時間精算)でお願いします。**ご面倒でも、老人クラブから活動内容を提出して頂き、活動に対する日当を支払ってあげてください。

どんな些細なことでも結構です。お気軽に、支援員にお尋ねください。

	問 合 先	支援員	電話番号
東 部	水土里ネットとっとり(協議会事務局)	小林 孝規	0857-38-9500
中 部	水土里ネットとっとり倉吉事務所	前田 秀穂	0858-47-0055
西 部	水土里ネットとっとり米子事務所	種田 順治	0859-32-9710